

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ロ コウショウ 氏 名 呂 光暁	職 名 人間学部 子ども教育学科	取得学位 博士(教育学) (大学名) 筑波大学 (取得年月) 2017年3月
--------------------------------	------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
①教育内容・方法の工夫(授業評価を含む)		
マルチメディア機器を活用した授業	2019年4月～	「ハエのいない町(1950)」の映像を視聴させることで、当時における授業活動の実際の様子を通して、初期社会科における問題解決学習に対する受講生の理解を深めた。
アクティブラーニングを取り入れた授業	2019年4月～	典型的な授業実践を学習させた上で、思考力・判断力・表現力・問題解決能力の育成を図る社会科の指導方法を探究させ、実際に学習指導案を作成し、模擬授業に取り組みさせたことで、教育実技の向上を促進した。
成績評価の取り組み	2019年4月～	授業では、毎回「復習課題」を設定し、授業内容に対する理解・感想を書かせた。受講生の日々の成長を含めた学習評価と最終の総括的評価の両者を駆使し、各学生の実態に即した評価を行った。
学習支援の取り組み	2019年4月～ 2019年4月～	「振り返りシート」で、毎回の授業における学生自身の考えを記録させて定期的に振り返らせることで、自ら課題を発見し解決していくような学習意識と習慣を身に付けさせた。 教科教育法の授業では、学習指導案の作成練習と模擬授業の実施を充実させるために、受講生が準備・練習する時間を十分に保障するように、学習指導要領の学びと連動させて、より早い段階からの模擬授業のテーマ決定、授業指導案の作成に着手させることで、より完成度の高い模擬授業の実施を促進した。
②作成した教科書、教材、参考書		
	2021年6月	新・教職課程演習第11巻 初等社会科教育, 第1章「Q4社会科の目標に示された公民としての資質・能力について述べなさい」第7章「Q2地域の生産や販売の仕事と地域の安全を守る働き」の教材研究の視点について述べなさい」
	2024年4月	『社会科教育事典 第3版』第3部第2章「中国の動向」
	2024年4月	『Well-beingをめざす社会科教育 人権/平和/文化多様性/国際理解/環境・まちづくり』第4章3節「中国における国際理解教育の進展と課題」

③教育方法・教育実践に関する発表、講演		
④その他教育活動上特記すべき事項		
なし		

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
著書						
『新・教職課程演習第11巻 初等社会科教育』, 第1章「Q4社会科の目標に示された公民としての資質・能力について述べなさい」 第7章「Q2地域の生産や販売の仕事と地域の安全を守る働きの教材研究の視点について述べなさい」	共著	2021.6	協同出版	唐木清志・永田忠道編著, 呂光暁・他 26名		17~19 149~151
『社会科教育事典 第3版』「中国の動向」	共著	2024.4	ぎょうせい	日本社会科教育学会編, 呂光暁、他 68名		390~391
『Well-being をめざす社会科教育 人権/平和/文化多様性/国際理解/環境・まちづくり』	共著	2024.4	古今書院	井田仁康監修、唐木清志、國分麻里、金玆辰編著、呂光暁、他 24名		203~213
論文						

学習指導要領の変化から見た小学校社会科教育の方向性 —経済学習を中心として—	単著	2019.11	白鷗大学教育学部『白鷗大学教育学部論集』第13巻第2号			115～134
心理志向の経済教育論の展望—経済教育の課題を踏まえて—	単著	2020.5	白鷗大学教育学部『白鷗大学教育学部論集』第14巻第1号			193～218
日本における社会科教育研究の動向(2019年度)	単著	2020.12	日本社会科教育学会『社会科教育研究』第141号			84～95
中国のキリスト教と宗教の必要性について	単著	2021.3	仙台白百合女子大学カトリック研究所『論集』第25号			77～81
経済的思考の特質と育成方法—社会的認知と経済的社会化に着目して—	単著	2021.3	仙台白百合女子大学『仙台白百合女子大学紀要』第25号			33～46
モデルプラン3 職業選択(小学校社会科第3学年・第5学年)	単著	2021.4	日本公民教育学会 2017(平成29)年度～2019(平成31)年度基盤研究(B)『新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究研究成果報告書』			1頁
モデルプラン15 金融の働き(小学校社会科第3学年・第5学年)	単著	2021.4	日本公民教育学会 2017(平成29)年度～2019(平成31)年度基盤研究(B)『新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究研究成果報告書』			1頁
大学の教職課程におけるICT活用の試み—社会科を中心に—	単著	2022.2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号 仙台白百合女子大学教職課程研究センター			39～47
生活科のカリキュラム構造から見た素朴理論の可能性	単著	2023.2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第2号 仙			3～12

			台白百合女子大学教職課程 研究センター			
多様性の尊重を意識した経済学習	共著	2023.3	科学研究費補助金(基盤研究 B)(課題番号:20H01670) 『18歳市民力を育成する社会 科・公民科の系統的・総合的 教育課程編成に関する研究 報告書』			144～145
子どもの社会的な見方・考え方の形成を目指す単 元開発—中学校の経済学習を中心に—	単著	2023.5	白鷗大学教育学部『白鷗大学 教育学部論集』 第17巻第1号			133～153

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
なし						

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
学習指導要領の変化から見た小学校社会科教育の方向性—経済学習を中心として—	2019年6月	日本公民教育学会第30回全国研究大会、於九州大学
小学校社会科における経済的思考をどう育成するか—子どもの社会的認知に着目して—	2019年9月	日本社会科教育学会第69回全国研究大会、於新潟大学
子どもの社会認識の形成を目指す単元開発—中学校2年生を対象に—	2021年6月	日本公民教育学会第31回全国研究大会 於大阪教育大学 (zoom参加)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本社会科教育学会	事務局広報部担当、ダイバーシティ委員会委員	2012年4月
中等社会科教育学会	会員	2012年4月

経済教育学会	会員	2012年4月
日本公民教育学会	理事、学会賞選定委員会	2013年4月
全国社会科教育学会	会員	2015年6月
筑波大学教育学会	会員	2018年2月
日本カリキュラム学会	会員	2018年8月
日本教師教育学会	会員	2018年8月

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本学術振興会	2019-2021	若手研究・代表	初等中等教育における問題基盤型の金融経済カリキュラムの開発—日中比較を中心に—	4,680,000
日本学術振興会	2023-2027	基盤研究(B)・分担	東アジア的文脈をふまえたグローバル市民教育の教員研修プログラム日中韓共同開発	18,330,000
日本学術振興会	2024-2028	若手研究・代表	経済的思考を育成する教育方法論の開発—素朴理論から科学的理論へ—	4,290,000

3. 特記事項

2015年9月26日	経済教育学会奨励賞受賞
2016年3月17日	筑波大学学長表彰受賞
2016年11月5日	日本社会科教育学会賞(論文部門)受賞
2017年3月24日	筑波大学人間総合科学研究科長賞受賞